

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月11日
【四半期会計期間】	第97期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	シロキ工業株式会社
【英訳名】	SHIROKI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松井 拓夫
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市桐原町2番地 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	豊川(0533)84 4691(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部庶務室長 市川 和伯
【最寄りの連絡場所】	愛知県豊川市千両町下野市場35 - 1
【電話番号】	豊川(0533)93 1269(直通)
【事務連絡者氏名】	経理部長 楓 力考
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第96期 第2四半期 連結累計期間	第97期 第2四半期 連結累計期間	第96期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	57,531	57,207	109,850
経常利益(百万円)	1,579	1,341	3,063
四半期(当期)純利益(百万円)	938	807	1,586
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	1,252	2,370	2,443
純資産額(百万円)	34,696	37,803	35,701
総資産額(百万円)	68,847	72,989	70,001
1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	10.59	9.11	17.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	50.1	51.5	50.7
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,304	2,292	7,184
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,946	3,114	5,761
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,841	423	2,337
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	10,052	10,452	11,100

回次	第96期 第2四半期 連結会計期間	第97期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1.92	4.19

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、当社グループは平成25年7月3日に東北シロキ株式会社を新たに設立し連結子会社といたしました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内経済は新政権の経済政策及び金融緩和策などにより、景気は穏やかに回復してきました。また、海外においては欧米の景気は回復基調であるものの、中国の成長鈍化など新興国は不透明な状況が続いております。

このような状況の中、自動車業界におきましては、円高の是正が進んだことにより輸出は回復いたしました。国内市場はエコカー補助金制度打ち切りにより縮小いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は572億7百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は12億46百万円（前年同四半期比36.9%減）、経常利益は13億41百万円（前年同四半期比15.0%減）、四半期純利益は8億7百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 日本

売上高は386億69百万円（前年同四半期比9.8%減）となり、セグメント利益は3億円（前年同四半期比71.0%減）となりました。

#### 米国

売上高は118億75百万円（前年同四半期比24.6%増）となり、セグメント利益は18百万円（前年同四半期比47.1%減）となりました。

#### 中国

売上高は31億27百万円（前年同四半期比3.8%減）となり、セグメント利益は1億49百万円（前年同四半期比59.1%減）となりました。

#### 東南アジア

売上高は46億68百万円（前年同四半期比47.7%増）となり、セグメント利益は4億71百万円（前年同四半期比78.7%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて6億48百万円減少し、104億52百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動キャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、22億92百万円（前年同四半期比46.7%減）となりました。主たる増加要因は、税金等調整前四半期純利益11億99百万円、減価償却費21億80百万円などでありま

す。一方、法人税等の支払3億94百万円などが主な減少要因であります。

（投資活動キャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、31億14百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。主な減少要因は固定資産の取得による支出31億16百万円であります。

（財務活動キャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、4億23百万円（前年同四半期比85.1%減）となりました。主な減少要因は長期借入金返済2億90百万円、配当金の支払2億65百万円などでありま

す。一方、長期借入れ2億87百万円などが主な増加要因であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、13億66百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	89,003,624	89,003,624	東京証券取引所 名古屋証券取引所 (各市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	89,003,624	89,003,624	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

( 4 ) 【ライツプランの内容】  
該当事項はありません。

( 5 ) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数 (株)	発行済株式総数 残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	89,003,624	-	7,460	-	9,699

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	17,629	19.80
東京急行電鉄株式会社	東京都渋谷区南平台町5-6	11,644	13.08
アイシン精機株式会社	愛知県刈谷市朝日町2丁目1	11,254	12.64
株式会社豊栄商会	愛知県豊田市堤町寺池66	2,468	2.77
シロキ工業持株協力会	愛知県豊川市千両町下野市場35-1	2,464	2.76
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人 日本マスター トラスト信託銀行株式会 社)	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	2,135	2.39
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	1,440	1.61
シロキ工業従業員持株会	愛知県豊川市千両町下野市場35-1	1,322	1.48
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託 口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,322	1.48
株式会社りそな銀行	大阪府中央区備後町2丁目2番1号	977	1.09
計	-	52,658	59.10

(注) 当第2四半期会計期間末現在における、三菱UFJ信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の信託業務の株式数については、当社として把握することができないため記載しておりませ  
ん。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 370,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 -	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,081,000	88,081	-
単元未満株式	普通株式 552,624	-	-
発行済株式総数	89,003,624	-	-
総株主の議決権	-	88,081	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) シロキ工業(株)	神奈川県藤沢市桐原町2 番地	370,000	-	370,000	0.42
計	-	370,000	-	370,000	0.42

(注) 上記のほか、株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権の数1個)あります。

なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,118	10,480
受取手形及び売掛金	17,734	18,337
商品及び製品	894	917
仕掛品	652	771
原材料及び貯蔵品	2,465	2,394
その他	3,715	4,534
貸倒引当金	0	1
流動資産合計	36,580	37,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,991	6,014
機械装置及び運搬具(純額)	11,782	12,474
土地	3,361	3,851
建設仮勘定	3,198	3,661
その他(純額)	2,222	2,312
有形固定資産合計	26,556	28,315
無形固定資産		
その他	255	264
無形固定資産合計	255	264
投資その他の資産		
投資有価証券	1,634	1,771
繰延税金資産	1,783	1,624
前払年金費用	2,504	2,865
その他	715	741
貸倒引当金	28	28
投資その他の資産合計	6,609	6,975
固定資産合計	33,421	35,555
資産合計	70,001	72,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,437	18,078
短期借入金	865	985
1年内返済予定の長期借入金	281	21
未払法人税等	429	340
賞与引当金	1,088	1,051
役員賞与引当金	54	25
その他	4,653	4,749
流動負債合計	24,810	25,251
固定負債		
長期借入金	7,079	7,477
退職給付引当金	1,745	1,807
役員退職慰労引当金	20	14
資産除去債務	271	273
その他	373	360
固定負債合計	9,489	9,934
負債合計	34,300	35,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,460	7,460
資本剰余金	9,699	9,699
利益剰余金	19,567	20,108
自己株式	93	95
株主資本合計	36,632	37,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349	442
為替換算調整勘定	1,473	41
その他の包括利益累計額合計	1,123	401
少数株主持分	192	230
純資産合計	35,701	37,803
負債純資産合計	70,001	72,989

( 2 ) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	57,531	57,207
売上原価	50,071	50,170
売上総利益	7,459	7,037
販売費及び一般管理費	5,484	5,790
営業利益	1,974	1,246
営業外収益		
受取利息	11	23
受取配当金	5	6
為替差益	-	37
金型等売却益	52	45
受取ロイヤリティ	27	55
その他	43	104
営業外収益合計	140	273
営業外費用		
支払利息	65	71
為替差損	347	-
金型等売却損	89	101
その他	32	5
営業外費用合計	535	177
経常利益	1,579	1,341
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	11	0
固定資産売却損	3	-
減損損失	87	142
その他	1	-
特別損失合計	103	142
税金等調整前四半期純利益	1,476	1,199
法人税、住民税及び事業税	473	311
法人税等調整額	53	72
法人税等合計	526	384
少数株主損益調整前四半期純利益	949	814
少数株主利益	11	6
四半期純利益	938	807
少数株主利益	11	6
少数株主損益調整前四半期純利益	949	814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	92
為替換算調整勘定	327	1,462
その他の包括利益合計	302	1,555
四半期包括利益	1,252	2,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,237	2,332

少数株主に係る四半期包括利益

14

37

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,476	1,199
減価償却費	2,055	2,180
減損損失	87	142
固定資産除却損	11	0
退職給付引当金の増減額(は減少)	56	61
前払年金費用の増減額(は増加)	460	360
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(は減少)	3	37
役員賞与引当金の増減額(は減少)	33	29
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1	5
受取利息及び受取配当金	17	30
支払利息	65	71
為替差損益(は益)	296	163
固定資産売却損益(は益)	1	25
売上債権の増減額(は増加)	2,650	119
たな卸資産の増減額(は増加)	45	131
未収入金の増減額(は増加)	526	92
仕入債務の増減額(は減少)	2,099	35
その他	420	416
小計	4,989	2,725
利息及び配当金の受取額	17	30
利息の支払額	74	68
法人税等の支払額	628	394
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,304	2,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	8	9
固定資産の取得による支出	2,964	3,116
固定資産の売却による収入	22	9
長期貸付けによる支出	4	2
長期貸付金の回収による収入	7	7
その他	-	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,946	3,114
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	388	287
長期借入金の返済による支出	2,818	290
配当金の支払額	265	265
自己株式の取得による支出	1	1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	96	124
少数株主への配当金の支払額	12	6
その他	35	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,841	423
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	597
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,578	648
現金及び現金同等物の期首残高	11,630	11,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,052	10,452

【注記事項】

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

連結の範囲の重要な変更

当第 2 四半期連結会計期間より、東北シロキ株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

( 四半期連結損益及び包括利益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日 )
運賃・荷造梱包費	1,335百万円	1,140百万円
給与及び賞与手当	1,455	1,553
賞与引当金繰入額	384	370
退職給付費用	88	126

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	10,073百万円	10,480百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	21	27
現金及び現金同等物	10,052	10,452

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	265	3.0	平成24年3月31日	平成24年6月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	177	2.0	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月13日 定時株主総会	普通株式	265	3.0	平成25年3月31日	平成25年6月14日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	177	2.0	平成25年9月30日	平成25年11月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	東南アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	41,693	9,519	3,200	3,118	57,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,177	8	51	41	1,278
計	42,870	9,527	3,252	3,159	58,809
セグメント利益	1,037	34	365	263	1,700

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,700
セグメント間取引消去	274
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,974

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失又はのれんはありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	東南アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	37,671	11,849	3,103	4,583	57,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	998	26	24	84	1,134
計	38,669	11,875	3,127	4,668	58,341
セグメント利益	300	18	149	471	939

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	939
セグメント間取引消去	307
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,246

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失又はのれんはありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	10円59銭	9円11銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	938	807
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	938	807
普通株式の期中平均株式数(千株)	88,649	88,638

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・177百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・・・2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成25年11月26日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

シロキ工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安藤 泰行 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中村 哲也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシロキ工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シロキ工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。